

「令和6年度1人1台端末時代のICT活用講座【体験型】サテライト会場研修」業務委託に係る
公募型プロポーザル実施要領

1 趣旨

本要領は、「令和6年度1人1台端末時代のICT活用講座【体験型】サテライト会場研修」業務の受託候補者を公募型プロポーザル（以下「プロポーザル」という。）により選定するために必要な事項を定める。

2 委託事業の概要

(1) 業務名

「令和6年度1人1台端末時代のICT活用講座【体験型】サテライト会場研修」業務

(2) 目的

クラウドを活用した授業づくりやオンライン学習について理解を深めるとともに、実際の運用について体験を通して機器や教材の取り扱い方を学び、ICTを活用した指導力向上を目的とする。

(3) 業務内容

別紙「令和6年度1人1台端末時代のICT活用講座【体験型】サテライト会場研修」業務仕様書（以下「仕様書」という。）のとおり

(4) 委託期間

契約締結日から令和7年2月28日まで

3 委託費の上限額

金3,000,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

参考見積書の金額が、上限額を超過した場合は失格とする。また、この上限額とは別に契約手続きの中で予定価格が設定される。

本プロポーザルは、富山県令和6年度当初予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続きであり、予算成立後に効力を生じる業務である。したがって、富山県議会において当初予算が否決された場合は、委託契約は締結しないものとする。なお、契約しなかった場合においても、プロポーザル参加事業者が本業務を実施するために支出した費用（準備行為も含む）、提供した知見の対価等については一切補償しない。

4 プロポーザルの参加資格

次に掲げる条件をすべて満たした者とする。

- (1) 本事業を実施するうえで必要な十分な経験と知識を有し、確実に遂行できる体制であること。
- (2) プロポーザルへの参加に必要な諸手続きに遺漏がないこと。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定に基づく更生手続開始の申し立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定に基づく再生手続開始の申し立てがなされていない者（会社更生法の規定に基づく更生手続開始又は民事再生法の規定に基づく再生手続開始の申し立てがなされた者であっても、更生計画の認可が決定された者又は再生計画の認可の決定が確定された者を除く。）であること。

- (5) 会社法（平成 17 年法律第 86 号）第 475 条若しくは第 644 条の規定に基づく清算の開始又は破産法（平成 16 年法律第 75 号）第 18 条若しくは第 19 条の規定に基づく破産手続開始の申立てがなされていない者であること。
- (6) 次のいずれにも該当しないこと
- ア 役員等（個人の場合はその者を、法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であると認められる者
 - イ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者
 - ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用した等と認められる者
 - エ 役員等が暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与したと認められる者
 - オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者
 - カ 役員等が、相手方が暴力団員であることを知りながら、これを不当に利用していると認められる者
- (7) 本件と同種の業務を実施した実績を有している者であること。

5 プロポーザル参加手続等

(1) 参加申込

- ・提出書類：参加申込書（様式 1）及び会社概要（様式 2）
 - ※ ファイル形式は PDF とすること。
- ・提出方法：電子メールにて小中学校課メールアドレスへ提出
件名…【事業者名】ICT 活用講座【体験型】業務委託に係る参加申込
- ・提出場所：「12 提出先・問合せ先」に同じ
- ・提出期限：令和 6 年 3 月 6 日（水）午後 5 時（必着）
 - ※ 必ず電話で着信の確認をすること。

(2) 質問の受付

質問がある場合は、以下のとおり提出すること。電話及び口頭による質問は受け付けない。

- ・提出書類：質問書（様式 3）
 - ※ ファイル形式は Word とすること
- ・提出方法：電子メールにて小中学校課メールアドレスへ提出
件名…【事業者名】ICT 活用講座【体験型】業務委託に係る質問
- ・提出場所：「12 提出先・問合せ先」に同じ
- ・提出期限：令和 6 年 3 月 6 日（水）午後 5 時（必着）
 - ※ 必ず電話で着信の確認をすること。

質問に対する回答は、参加申込書（様式 1）を受理した全事業者に対して、3 月 11 日（月）を目途に電子メールで回答する。

6 企画提案書等の作成及び提出

本プロポーザルへの参加の申込みをした業者は、仕様書を踏まえて次のとおり企画提案書等を提出すること。

※ ファイル形式は PDF とする。全て別ファイルとし、一つのフォルダにまとめて提出すること。なお、プレゼンテーション当日の追加資料の配付及び企画提案書と同時に提出のなかった書類等の提示は認めない。

※ 提出するファイルの合計容量が 10MB を超える場合は、事前に担当に連絡すること。大容量ファイルの送信方法について、別途連絡する。

・提出書類

① 企画提案書（様式は任意）

仕様書を踏まえ、具体的かつ簡潔に記載してください。

（ア）提案の基本的な考え方

本業務の実施に関する基本的な考え方について記載

（イ）会社の業務実績

これまでに受注した ICT 研修等を活用した業務の主な実績について記載

（ウ）研修の方法

研修実施の概要、流れについて記載

（エ）トラブル等への対応

想定されるリスクに対応するための体制等を記載

（オ）その他、新たな提案に関すること

業務の実施にあたり独自の提案があれば記載

② 概算見積書（様式任意）

仕様書を踏まえ、委託料に係るすべての経費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）を記載すること。（ただし、事業の実施に伴い必要となる備品類については、仕様書に記載があるもの以外は原則としてリース又はレンタルで対応すること。）

③ 業務実施体制

責任者氏名及び職務経歴、人員配置・実施体制などを記載すること。

・提出方法：電子メールにて小中学校課メールアドレスへ提出

件名…【事業者名】ICT 活用講座【体験型】業務委託に係る企画提案書等

・提出場所：「12 提出先・問合せ先」に同じ

・提出期限：令和 6 年 3 月 15 日（金）午後 5 時（必着）

※ 必ず電話で着信の確認をすること。

7 審査方法及び審査決定

（1）審査方法

提出された企画提案書等の内容審査（以下「書類審査」という。）及びプレゼンテーション審査により、「1 人 1 台端末時代の ICT 活用講座【体験型】サテライト会場研修業務委託に係る審査基準及び配点」に示す審査基準に基づいて審査を行い、全審査員の得点を合計したものを事業者の得点とする。最も得点の高い事業者を受託候補者とする。最も得点の高い事業者が複数の場合は、企画提案点（基本事項と支援業務の合計点）が高い事業者を受託候補者とする。参加者が多数の場合は、書類審査により一定数の者を選定し、その中からプレゼン

テーション審査を行い、受託候補者を選定する。

なお、審査は非公開とする。

(2) プレゼンテーション審査

- ・実施予定日：令和6年3月22日（金）午後1時30分から ※後日個別に連絡
- ・実施予定場所：富山県教育委員会 ※後日個別に連絡
- ・実施方法：1事業者あたりの時間は15分間以内とし、質疑応答の時間として別に10分間程度設ける。説明者は、提案者のうち本事業を担当する者3名以内とする。また、説明は本事業の目的及び技術的特徴を網羅的に理解している参加申込書に記載された担当者が実施することとし、担当者以外の者のみの説明は不可とする。
会場に準備されたモニター（HDMI接続）を使用してもよい。ただし、企画提案書等と同時に提出のなかった資料等の提示は認めない。準備に要する時間は、3分間以内とする。
プレゼンテーション審査の実施順は、参加申込書の提出順とする。

(3) 審査結果の通知

審査結果は後日、書面（電子メール添付）で採否のみ通知する。また、審査結果に対する異議申し立てはできない。

8 審査基準及び配点

プロポーザルは以下の審査基準に基づき審査する。点数は、各評価項目に対するA評価からE評価による加点方式を採用する。

<審査基準>

「令和6年度1人1台端末時代のICT活用講座【体験型】サテライト会場研修業務委託に係る公募型プロポーザル 審査基準及び配点」のとおり

9 契約の相手方の決定方法

県は受託候補者と業務履行に必要な具体的な協議を行い、協議が調った場合は、受託候補者から改めて見積書を徴収し、見積書の内容を精査の上、随意契約による業務委託契約を締結する。なお、受託先候補者と協議が調わない場合は、得点が2番目に高かった者と改めて協議を行う。

10 日程（予定）

(1) 公募開始	令和6年2月22日（木）
(2) 参加申込、質問書受付期限	令和6年3月6日（水）午後5時
(3) 質問の回答	令和6年3月11日（月）
(4) 企画提案書等提出期限	令和6年3月15日（金）午後5時
(5) プレゼンテーション	令和6年3月22日（金）午後1時30分から
(6) 審査結果通知	令和6年3月28日（木）
(7) 契約締結	令和6年4月上旬～
(8) 委託事業開始	令和6年4月上旬～

11 その他

- (1) 提出する案は、参加事業者1者につき1案とする。
- (2) 次のいずれかに該当する場合には、提案を無効とする。
 - ア 参加資格要件を満たしていない場合
 - イ 実施要領等で示された提出期限、提出先、提出書類の書式等の条件に適合する書類の提出がなかった場合
 - ウ 提出書類に虚偽の記載があった場合
 - エ 本プロポーザルに関する条件、あらかじめ指示した事項等に違反した場合
 - オ 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
 - カ 提出書類に記載された内容において、明らかに公正な競争を阻害する又は事業実施に支障を来す恐れがあると判断される場合
- (3) 本プロポーザル参加に要する全ての費用は、参加事業者の負担とする。
- (4) 提出された企画提案書等は返却しない。
- (5) 参加申込後に辞退する場合は、辞退届を提出すること。(様式任意)
- (6) 受託者は、受託業務を実施するにあたり、業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は利益のために利用することはできない。また、委託業務終了後も同様とする。
- (7) 企画提案書等の内容に不整合があった場合は、富山県にとって利となる内容を正とする。
- (8) 業務委託により作成した成果物及び当該成果物に係る著作権は県に帰属するものとする。

12 担当部署（提出先・問合せ先）

富山県教育委員会小中学校課 教育力向上班
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
TEL：076-444-3449 FAX：076-444-4439
E-mail：ashochugakko@pref.toyama.lg.jp